



令和 7 年度

町ぐるみ / 奥出雲町中学校
職場体験学習



奥出雲町教育委員会
文化スポーツ振興課



目 次

		ページ
01	本事業について	01
02	事業の概要	03
03	受け入れにあたって	04
04	緊急時の対応について	06
05	よくある質問	07
06	これまでご協力いただいた事業所様	08



01 本事業について

背景

近年、子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。都市部への進学・就職率の増加、地域活動への参画機会の減少、メディア依存、定職に就かない青少年の増加や不登校、引きこもりを経験した青少年の増加など、多くの課題が指摘されており、本町も例外ではありません。こうした子どもたちの生活や意識の変容、学校から社会への移行をめぐる様々な課題に対応し、望ましい勤労観・職業観を育み自立して生きていくための力を身につけていくことができるよう働きかけていく必要があります。

奥出雲町では、町内2つの中学校と教育委員会、そして地域・事業所の皆様とが連携し合い、平成29年度から仁多・横田両中学校合同で町ぐるみ職場体験学習を実施してきました。地域・事業所の方々の温かいご支援とご協力のもと、子どもたちの職業観・勤労観を養い、将来の目標に目を向けていく取り組みとして、大きな成果を上げております。

体験内容について

これまで100カ所近い事業所様にお世話になり、様々な業種で体験学習を実施していただきました。※7ページ参照

体験する生徒には、「どうしてこのような作業をするのか」「どうしてこの作業が大事なのか」ということをぜひご説明いただきたいと思います。例えば掃除をする際に、ただ「ここの掃除をしてね」と言うだけでなく、掃除をすることでお客様が気持ちよく利用できるようなること、従業員のモチベーションが上がること等、どのような効果があるのかということと同時にご説明ください。



そうしていただくとこで、ただの作業だった掃除が、生徒にとって非常に意味のある仕事になります。生徒が職場体験を通じて働くことが楽しいこと、その一方で楽しい仕事だけではないこと、辛い仕事をやり遂げる中で達成感があること等を感じることが大切と考えております。



実際に体験学習を通してのみなさまの声

生徒

人生が変わる3日間でした。今まで体験したことがないことをたくさん経験させてもらい、将来やりたいことを選択肢が増えました。

自分が調理に携わった料理をお客様が笑顔で食べているのを見てすごくうれしかったです。

奥出雲に「こんなにこだわってものづくりをしている企業があったんだ！」と驚きました。ふるさとがまた少し好きになった気がします。



初日はかなり緊張した様子でしたが、日に日に自分から積極的に動けていました。この仕事に少しでも興味・関心が湧くととても嬉しいです。

中学生の4倍以上の年代が集まる職場ですが、生徒が来た日は孫のように可愛がり、普段とはまた違った活気が職場に生まれました。

初日は緊張した面持ちで、子も親も不安でしたが、帰宅すると「すごく楽しかった！」と業務内容を熱心に話してくれました。学校の中では中々学ぶことのできない経験をさせてもらっていることに感謝です。また、親としてもよく分かっていなかった事業所の様子が分かりました。

受入事業所

丁寧に作業をする中学生の姿を見て、改めて自分がこの仕事に就業した時の気持ちを思い出しました。職員にとってもとても意味のある体験となりました。

保護者・教員

町外から異動してきましたが、ここまで町一体となって活動しているのは奥出雲町だけだと思います。学校と地域が連携して生徒を育てようとする取組に大変感謝しています。



02

事業の概要

1.ねらい

- ①異なる年代の人々と関わり、様々な生き方・考え方にふれることにより、自己の生き方について考えるとともに自立への意識を高める。
- ②地元の事業所での仕事体験やそこで働く人との交流を通して、地域社会への理解を深める。
- ③実際の職場で仕事を体験したり働く大人の姿を見たりすることにより、望ましい勤労観・職業観の形成と、社会人・職業人として必要な能力について理解する。

2.期待する効果

仕事の体験を通して

- ▶ 地域の生活を支える営みを体験し、働くことの意義を考える。
- ▶ 仕事の楽しさ、厳しさなどを知り、今後の自分の在り方や進路を考える。
- ▶ 手伝ったり教わったり、協力して仕事をする中で、協働することの良さを感じる。

従業員との交流を通して

- ▶ 仕事に対する情熱、プロの技を目の当たりにし、あこがれを抱く。
- ▶ 奥出雲に対する思い、そこで働く思いなどを聞き、ふるさとへの思いを新たにす。
- ▶ 社会人として、身に付けるべき礼儀やマナーを学ぶ。

顧客対応を通して

- ▶ お客様の声や笑顔にふれ、人のために働くやりがいを感じる。
- ▶ コミュニケーションの難しさ、大切さを実感する。
- ▶ 地域で働く人とつながることで、地域の一員としての自覚を持つ。

3.実施期間

原則、10月第1週の火曜日～木曜日（3日間）

4.対象生徒

町内中学校の3年生全員

令和7年度は、
9月30日（火）～10月2日（木）の日程で
81名の生徒が体験予定です！





受入れまでの流れ

4~5月上旬

4月、各中学校担当教員と教育委員会で今年度事業の打合せを行い事業のスタートとなります。中学校では事前オリエンテーションを実施し、生徒のニーズ（どんな業種で働きたいか）を把握します。それを基に今年度の体験候補先を決めます。新たに受け入れをお願いしたい事業所様には教育委員会担当者からお願いのお電話をすることがあります。

6月

これまでご協力いただいた事業所様や新たに声をかけさせていただいた事業所様へ、教育委員会から受け入れ調査票を郵送します。受け入れの可否や作業内容、求人数、適性等をご記入ください。

※6月中旬頃までご回答をお願いします。

[illegible]

7 月

中学校でのマッチング作業実施後、受入れが決定した事業所様へ生徒の派遣に関するお知らせを送付いたします。お知らせには、派遣をお願いする学校と生徒名、今後の日程等が記載されています。

※体験先は生徒の希望をもとに偏りが無いよう割り当てる予定ですが、状況によっては実習生徒を派遣できない場合があります。ご了承ください。

8月下旬

事業所連絡会を開催します。各中学校担当教員と教育委員会、各事業所担当者様が一堂に会し、体験学習についての情報交換を図ります。生徒が行う具体的な業務や、これまで受け入れを行ったことで得られた成果等について情報共有します。



9月

学校との事前打ち合わせの日程調整後、実際に生徒が各事業所様へ伺います。集合時間や集合場所、勤務時間、服装、持ち物等について確認いたします。

10月上旬 ※原則第1週の火曜日～木曜日の3日間

各事業所へ生徒が派遣され、職場体験をさせていただきます。

※基本的に教員等の同行はありません。

職場体験実施後

職場体験をより良いものにするため、「職場体験実施後アンケート」へのご回答をお願いいたします。また、例年各中学校において職場体験学習発表会が実施されます。事業所様にもご案内をしていますので、ぜひご参加ください。





受け入れていただく際のお願い

1.事前打合せについて

9月に入ったところでご挨拶や打ち合わせの日時の相談等のため、派遣予定の生徒が連絡いたします。職場体験の事前打ち合わせには原則生徒が伺いますので、30分程度のご対応をお願いいたします。事前打ち合わせでは、集合時間、集合場所、勤務時間、服装、持ち物、昼食の有無、注意事項や3日間のスケジュール、出席確認の方法、緊急時の連絡方法等について、確認をお願いいたします。

なお、特別な事情（ケガやアレルギー、特性等）がある生徒については中学校担当者から個別にご連絡し情報共有いたします。

2.広報について

教育委員会担当者が「職場体験実施中」と記載した垂れ幕を持っていきます。差し支えない範囲で掲示をお願いいたします。体験実施後、教育委員会担当者が回収に伺います。

また、告知放送や町公式LINE等でも事業実施のアナウンスをいたします。

3.勤務内容・時間について

基本的にはどのような仕事をさせていただいてもかまいません。生徒が働くことの意義や大切さを学ぶだけでなく、自分の将来を考え可能性を見いだす良い機会となりますよう、各事業所様の実態に合わせてご計画ください。ただし、中学生にそぐわない仕事内容（例：センシティブ（死・宗教・家庭問題・犯罪など）な内容が含まれる会議等への出席、従業員や顧客と過度な身体接触がある、顧客と密室で1対1となるような業務など）は避けていただきますようお願いいたします。

体験時間については基本的に業務時間に合わせていただいてもかまいませんが、普段の学校生活は8時30分から16時の間に行われていますので、夜間・深夜・早朝等の体験は控えていただき、交通等を考慮したうえで、勤務時間の調整をお願いいたします。生徒の多くは路線バスを利用して出退勤します。

体験初日には、オリエンテーションとして生徒が目標をもって従事できるよう、仕事内容や目的、気を付けることなど、仕事をするうえで大切な内容の説明をお願いいたします。

例えば、販売業であれば、開店前の掃除、商品の整理、接客などが考えられます。仕事内容を理解できれば、お店のPRをすることもできるかもしれません。福祉関係であれば、利用者様へのご支援や施設内の飾りつけ、配膳なども考えられます。中学生の意見を聞ける機会でもありますので、双方に有意義な活動になれば幸いです。なお、体験中は、派遣された生徒にご指導いただけるご担当の方がいることが望ましいです。



また職場体験実施中に、中学校教員や教育委員会の担当者が訪問させていただき、生徒の職務への取り組み状況などを拝見することがあります。予めご了承ください。

4.個別の支援が必要な生徒について

中学校担当教員は事業所に伝えるべき情報について保護者と共有します。（どんな内容をどの程度伝えるか）また、体験先の決定についても、保護者と連携を密にしながら進めます。

その後中学校から事業所へ情報提供を行います。8月の事業所説明会や場合によっては個別訪問、電話等で行います。

※ご相談等がある場合は、事業所のご担当者様から派遣予定の中学校にご連絡していただいても差支えありません。



04

緊急時の対応について

1.事故やケガ、急病

応急手当を行い、他の指導者への連絡・状況判断をお願いいたします。重度の場合は、救急要請(119番)をしてください。

事業所様のご支援により、大きな問題なく対応できた場合も、必ず中学校にご連絡いただき、状況をお伝えください。

【連絡先】

仁多中学校	TEL 0854-54-1125	}	生徒に関すること
横田中学校	TEL 0854-52-2331		
奥出雲町教育委員会			TEL 0854-52-2114→ 事業全般に関すること

2.生徒の問題行動

危険のある場合やお客様に影響がある場合など、実習中対応に困ることがあれば、中学校にご連絡ください。電話での対応のほか、必要に応じて現場へ出向き、対応します。場合によっては、仕事内容の変更、安全の確保、仕事の中断を行います。

3.その他考え得る事態において

・就業時間になっても来ない(遅刻)

派遣元の中学校へご連絡ください。体調不良等で欠席の場合は学校から事前にご連絡いたします。

・昼食の弁当を忘れた

原則、学校では弁当を忘れた際の外食を認めていません。判明した時点で中学校へ連絡し、対応をご相談ください。

・事業所の物品を破損した

「いつ」「どこで」「だれが」「何をしていた」等の状況をご確認のうえ、速やかに派遣元の中学校へご連絡ください。

・保護者から見学希望があった

各事業所様でご判断いただき、学校や教育委員会への連絡は不要です。

基本的に、体験活動実施中対応に困ることがあれば中学校へご連絡ください。



05

よくある質問

Q

質 問

A

回 答

台風の接近や大雪等の警報が発令された場合はどうすればいい？

生徒の欠席や早退等の必要が生じる場合には、学校から事業所へ連絡いたします。また、活動中に状況が変わることも想定されます。その際、事業所の判断で生徒を帰らせることも可能ですが、必ず派遣元の中学校へご連絡をお願いいたします。

個人情報扱う業務に携わらせてもよいか？

中学校での事前指導において、社会人としての守秘義務等の指導は行いますが、中学生ですので厳密な責任を負わせることはできません。事業所におかれましても、個人情報扱う業務についてはできる限り避けていただくようお願いいたします。

業務内容として、現場見学や外回りなどに同行させてよいか？

業務として外出することも可能です。外出の際は天候や交通に関して安全対策をお願いいたします。なお、生徒の安全確保や健全育成上の観点から適切でない場所への外出はご遠慮ください。

飲食関係、食品製造に関する業種だが、生徒に商品を食べてもらうことは可能か？

業務の過程で飲食することは可能です。食品アレルギー等の対応必要な生徒については、あらかじめ中学校から情報提供いたします。

受け入れ日数は3日間でないといけないか？

必ずしも3日間での受け入れでなくても構いません。受け入れ調査票に「〇日のみ受け入れ可能」等ご記入する欄を設けています。

職場体験の受け入れを可能と回答していたが、都合がつかなくなってしまったためキャンセルしたい。

生徒の受け入れに関するキャンセルの場合は、教育委員会職場体験担当までご連絡ください。また7月以降、受け入れ生徒決定後のキャンセルにつきましては、派遣予定の中学校にご連絡をお願いいたします。

派遣された生徒に対して、注意をしてよいのか。

業務や勤務態度に関連して必要なことは口頭で注意をしていただき、社会人として職業に対する姿勢等をご指導ください。再三の注意や指導にもかかわらず改善しない、危険性がある等といった場合は、派遣元の中学校へご連絡ください。

職場体験の様子を事業所のホームページ、SNS等に載せたいがよいか。

事業の啓発のため、ぜひ積極的に発信していただければと考えていますが、ホームページ等に掲載する前に、必ず体験生徒と派遣元の学校に確認をしていただき、了解を得てください。

体験期間中は常に生徒を見守る必要がありますか？

常に見守っていただく必要はありませんが、長時間生徒のみで業務にあたらせたり、ことはご遠慮ください。各事業所のご判断で必要に応じて適宜見守りをお願いします。



06

これまでご協力いただいた事業所様（順不同）

1.文化・観光

NPO法人奥出雲布勢の郷（長者の湯）、サイクリングターミナル、財団法人奥出雲多根自然博物館、亀嵩温泉玉峰山荘、絲原記念館、奥出雲町観光協会

2.製造関係

東洋製鉄株式会社出雲仁多工場、株式会社ニッポー島根工場、株式会社加地本社工場、株式会社ベッセル島根、株式会社ガット、ウィンテック株式会社、ホシザキ株式会社、アキレス島根株式会社

3.行政職

奥出雲消防署、奥出雲町役場

4.建築関係

仁多地区建設業協会青年部会、有限会社糸賀工務店、株式会社松崎建築、株式会社サンエイト、株式会社 OKU-Reno.

5.小売り関係

有限会社ブライトカーズ、株式会社田中商会、株式会社丸共、横田マルキガス株式会社、藤原写真館、株式会社奥出雲振興仁多特産市、奥出雲酒蔵株式会社道の駅酒蔵奥出雲交流館、協同組合横田ショッピングセンター、Aコープ横田店、株式会社ジュンテンドー横田店、湯川文教店、ファミリーマート奥出雲三成店、ファミリーマート奥出雲横田店、

6.情報・通信

奥出雲町情報通信協会

7.食品関連

奥出雲町立仁多学校給食共同調理場、奥出雲町立横田学校給食共同調理場、有限会社井上醤油店、ガトーリビドー、有限会社松葉屋、バーガーハウスピコピコ、奥出雲仁多米株式会社、NPO法人ともに

8.養鶏・畜産・林業

藤原造園、J Aしまね仁多広域肥育センター、宇田川養鶏、仁多郡森林組合、大塚ファーム、中国牧場

9.医療・福祉

奥出雲町立奥出雲病院、特別養護老人ホームあいサンホーム、養護老人ホーム玉峰苑、就労継続支援B型事業所けやきの郷、グループホームよこたの郷・デイサービスよこたの郷、特別養護老人ホームむらくも苑、デイサービスセンターにこにこ、デイサービスセンターほのぼの、NPO法人ふきのとう、デイサービス奥出雲ふるさとの家、有限会社ブルーム

10.教育関係

横田公民館、布勢幼稚園、阿井幼稚園、亀嵩幼稚園、三成幼稚園、横田幼稚園、八川幼稚園、馬木幼稚園、布勢小学校、三成小学校、三沢小学校、横田小学校、亀嵩小学校、阿井小学校、馬木小学校、八川小学校

引き続きまして、ご協力お願いいたします。



M E M O



大切なものほど
奥
にある。

奥出雲町

〈問い合わせ先〉

奥出雲町教育委員会
文化スポーツ振興課

TEL0854-52-2114

FAX0854-52-3048